

大谷學報

第 98 卷 第 2 号

2019年 3月15日発行

近世京都における 都市開発と新地形成……………	平野寿則 (1)
—— 妙法院と七条新地 ——	
「闘諍堅固」とは何か……………	采翠 晃 (27)
—— 南嶽慧思の思想を参照して ——	
境遇の探究……………	東 真行 (45)
—— 親鸞における「かおばせ」「すがた」「かたち」 ——	
彙 報……………	(67)
学位論文審査要旨……………	(51)
少女雑誌における シェイクスピアと宝塚少女歌劇……………	三浦誉史加 (37)
—— 坪内士行を中心に ——	
知的活動支援ツールとしての インフォメーション・ビジュアライゼーション……………	酒井恵光 (25)
……………	
ラオス北部地方都市における食肉流通の展開と移住者……………	高井康弘 (1)

大 谷 大 学

大 谷 学 会

THE OTANI GAKUHO

(THE JOURNAL OF
BUDDHIST STUDIES AND HUMANITIES)

CONTENTS

Articles:

- Meat Market and Migrants in a Local City of Northern Laos
..... *TAKAI Yasuhiro* (1)
- Information Visualization: A Powerful Tool Supporting Human Intellectual
Activities *SAKAI Ekō* (25)
- Shakespeare and the Takarazuka Revue in Girls' Magazines:
On Shiko Tsubouchi's Musical *MIURA Yoshika* (37)

Examination Report of Theses Presented for the Degree of Doctor of Literature
..... (51)

Reports (67)

Articles:

- On Exploring the Significance of "Encountering":
Shinran's Thought Regarding "Expression", "Appearance", and "Form"
..... *AZUMA Shingyō* (45)
- What Does *Douzhen jiangū* (闘諍堅固) Mean ?
With Reference to Nanyue Huisi's Thought *WAKEMI Akira* (27)
- Urban Development and Formation of Newly Created Land in the Early Modern
Period: Myōhōin and Shichijō-shinchi..... *HIRANO Toshinori* (1)

PUBLISHED FOR THE OTANI SOCIETY
OTANI UNIVERSITY
KYOTO, JAPAN

大谷大学図書館所蔵『大乘五蘊論開書』(二)

明治二四年の真宗大谷派改革運動…… 箕浦曉雄
——龍華空音を起点として—— 川口 淳

ハイデッガー・ナチズム問題再考…… 田鍋良臣
——メタポリティークの視点から——

彙報

学位論文審査要旨

蔵訳『阿闍世王経』第IV章訳注研究…… 宮崎展昌
在朝鮮日本人画家加藤松林人の活動…… 喜多恵美子

——自筆履歴書をめぐって——

M L A 連携における3 D デジタルアーカイブ活
用に向けた一考察…… 武田和哉
——M (博物館等施設)・L (図書館施設) 間の課題
解決を中心として——

【英文】日本における仏教と国家の関係

…… ロバート F. ローズ
——最澄と空海の思想に関連して——

アスクレピオスに鶏を…… 朴 一 功
——ソクラテスの最後の言葉について——

『華嚴経』天上篇の思想的意味について

…… 織田顕祐
『安樂集』第十二大門における『十往生経』の引
用の意図について…… マイケル・コンウェイ

二〇一八年度 春季公開講演会講演録

往生要集の救い…… ロバート F. ローズ
——地獄・極楽・念仏——

二〇一七年度

修士論文・卒業論文・卒業研究題目一覧

彙報

仏教混交サンスクリット語における「語幹名詞
の語末」について…… 稲葉維摩
——Larger Sukhāvāyūḥa ʾ Saddhammapuṇḍarikasūtra
に基いて——

音楽科における「主体的・対話的で深い学び」

…… 市川郁子
ペンバリーからチャッツワースへ…… 村瀬順子
——英国流「人とすみか」——

学生会員 投稿規程

1. 本学会学生会員で、『大谷學報』に論文の掲載を希望するものは、指導教員の推薦状を添えて投稿できる（一六〇〇〇字以内とする）。
2. 投稿された論文は、審査を経て採否が決定される。
3. 論文の審査は、編集委員および編集委員が選任委嘱する審査委員（若干名）によって行われる。
4. 審査の結果は左記の通りとし、②③の場合には、投稿者にその理由を通知する。
 - ① 採用
 - ② 条件付き採用（修正がなされた場合採用）
 - ③ 不採用
5. この規程は、『大谷學報』第八十九卷第一号より適用される。

投稿に際しての注意

『大谷學報』『大谷大學研究年報』各号（集）の執筆者は毎年、各号（集）発行の前年度の六月頃に開催される大谷学会委員会にて決定します。

投稿をご検討の方は、まず、できるだけ早い時期に大谷学会事務局までご連絡ください。

なお諸般の事情により、ご希望にお応えできないこともありますので、予めご了承ください。